



7人制女子ラグビーチーム ながとブルーエンジェルス (略称：NBA)

2017.11.13 始動!



キャプテン トウビック・ヘーゼル
アドバイザー うちやま まさみ 内山 将文
ハイパフォーマンスディレクター むらさぎ じょうじ 村杉 徐司
ヘッドコーチ エドウィン・コッカー
ゼネラルマネージャー やぶき ひろゆき 藪木 宏之

チーム概要

チームに所属する選手は13人で、日本人選手のほか、ニュージーランド出身の選手が在籍。キャプテンは元ニュージーランド代表のトゥビック・ヘーゼル選手が務めます。県内からは、3人の高校生・大学生がチームに合流しました。（詳細は本紙13ページ「長門の人」で紹介）



市内にクラブハウスが完成

市内にあるヤマネ鉄工建設株式会社の建物を改修し、室内練習場や最新のトレーニング器具を備えたクラブハウスが完成しました。

外観

2階内観

室内練習場

トレーニングルーム

11月13日(月)に東京で行われた記者会見では、元ニュージーランドセブンズ代表のエドウィン・コッカーさんがヘッドコーチに就任することが発表されました。今後はゼネラルマネージャーの藪木宏之さん、ハイパフォーマンスディレクターの村杉徐司さん、アドバイザーの内山将文さんとともに、豊富な経験を生かして選手の強化・育成に取り組みます。

ながとブルーエンジェルス

- 設立年月日 平成29年9月1日
- 所在地 長門市仙崎314番地1（クラブハウス内）
- 運営・問い合わせ 一般財団法人ながとスポーツ財団
TEL 0837-26-2677 FAX 0837-26-2680
MAIL info@blueangels.jp
公式サイト https://blueangels.jp

7人制ラグビーとは

7人制ラグビーは、基本的に通常の15人制と同じルール。フィールドで試合が行われますが、試合時間は短く、7分ハーフの14分間です。1日に複数試合を行うことも多く、接触プレーよりもパスやランニングプレーが多用されるため、スピードとスタミナが求められます。

○チーム初戦は「入替戦」

ながとブルーエンジェルスが最初に出場を目指すのは、7人制女子ラグビーのトップリーグとも言われる「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ」。年間4大会を実施し、総合優勝を決定するシリーズです。

来年のシリーズに常時参戦できる10チームの「コアチーム」入りをかけて、11月18日(土)〜19日(日)は初試合となる入替戦に出場しました。

設立までの経緯

長門市世界大会等キャンプ招致委員会のアドバイザーを務める藪木宏之さん（神戸製鋼OB／三隅下出身）が、キャンプ招致のレガシーとして、女子ラグビーチームの設立を県ラグビーフットボール協会に提案したことが始まりで、その後、雇用面の支援や女性の地位向上を図ればと、ヤマネ鉄工建設株式会社がメインスポンサーに就任し、チームが発足しました。

今後の活動

今後、チームは市内行事への参加やラグビー教室の開催など、地域に密着した活動を行うほか、国際大会の誘致やチームの活躍による女性の地位向上セカンドキャリア教育体制の構築などに取り組みます。

県知事表敬訪問・ラグビー教室を実施

11月13日(月)には、入替戦出場を村岡県知事に報告。翌14日(火)は明倫小学校でラグビー教室を行いました。また、この日から17日(金)までの4日間は、市内で強化練習を実施。初戦に向けて1つ1つのプレーを確認しながら汗を流し、士気を高めました。来年から本格的に各種大会・シリーズに出場する中で、女子ラグビーの普及を図り、将来、長門市からオリンピック選手が誕生することが期待されます。



▲今後の目標について村岡県知事と話を交わす



▲明倫小学校でのラグビー教室

▲市内で強化練習

○2017・2018年シーズンの活動予定

開催日	大会名/会場
平成29年 11月18～19日	太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ入替戦 ／神奈川県
平成30年 5・10・11月	太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ ／秋田・東京・保土ヶ谷・御殿場
6月	ピリカモシリセブンズ／北海道定山溪
8月	第73回国民体育大会中国ブロック大会／山口県
9月	北海道知事杯女子ラグビートーナメント ／北海道定山溪
10月	第73回国民体育大会福井しあわせ元気国体 ／福井県

※開催日・会場などは変更となることがあります



チームエンブレム

名称とデザイン

チーム名は公募され、市内・県内を中心に集まった179点の中から選考を実施し、「ながとブルーエンジェルス（略称：NBA）」に決定しました。チームエンブレムや試合時に使用するジャージは、株式会社カラー所属のアニメーション監督、前田真宏さんがデザインを担当し、制作しました。